

桐生市・みどり市の広域経済交流の促進について（新規）

桐生商工会議所が長年にわたり要望しておりました桐生市とみどり市との合併推進につきましては、平成 28 年 5 月にみどり市から任意合併協議会の設置の見送りが正式に伝えられ、合併協議にピリオドが打たれました。

かつて一市三町三村で構成されていた桐生広域経済圏は互いの地域特性や立地条件が有効に生かされ、長い広域圏行政のもとで将来の豊かな発展を構想しつつ緊密な連携を深め、共に歩んでまいりました。

国県等の関係諸官庁の管轄区域については桐生市とみどり市を単位として整合化され、合併に向けての環境整備は進んでおります。行政として両市が分断されている状況は、住民生活はもちろん産業活動や地域振興、観光面などあらゆる分野において様々な問題が生じております。

桐生市とみどり市が互いの地域コミュニティを保ちつつ、連携し補完し合いながらひとつの経済圏、生活圏を形成していくことこそ、地方創生が大きな課題となる現在、厳しい都市間競争に勝ち抜いていくための方策であると存じます。当所は、昭和 47 年に広域経済交流団体としての「赤城地区経済交流会」を発足、現在は「桐生市・みどり市経済交流会」と名前を変えて広域経済交流を推進しておりますが、桐生市とみどり市との合併推進は組織発足以来の変わらぬ基本姿勢であり、将来の実現を望むものであります。

桐生市におかれましては、産業界の声を真摯にお受け止めいただき、両市の広域経済交流の促進について、今後の市政運営に反映していただきたく強く要望いたします。

【桐生市からの回答】

桐生広域の経済につきましては、古くから、商工会議所を中心とした産業団体や各企業が、行政の枠組みを越えた経済交流・連携により発展してきたものと認識しており、今後も引き続き、桐生広域での経済交流を促進すべきであると考えております。

本市におきましては、合併協議とは関係なく、地域間の経済交流を促進するため、関係機関と連携した取り組みを展開してきたところであります。

具体的な取り組み事例としては、商工会議所及び桐生信用金庫と締結した「包括的連携・協力に関する協定」の趣旨に基づく三者連携事業として、「ビジネスマッチングフェア桐生」を実施しておりますが、桐生広域圏内の多くの企業などに参加いただいております。地域経済の活性化を推進するイベントとして、広域経済交流の促進にも大きく寄与しているものであります。

今後も、こうした取り組みを継続していくことにより、広域的な経済交流の促進に努めてまいりたいと考えております。

【回答担当】 産業経済部産業政策課産業政策係